

2023年8月16日 HBW2 利用者説明会 質疑応答

日時：2023年8月16日（金）14時～15時30分

場所：zoom を利用した web 会議

1. HBW2 の概要と運用方針

上限が BW の 5% から 1% に減ると小さくなる。例えば、HPCI に 50% 資源提供するならば半分の 2.5% にできないのか。

→ HPCI 課題の利用や低優先度実行である程度カバーできると考えている。運用状況を見つつ将来的には検討する。

BW の 5% と BW2 の 1% は同じか。

→ BW と BW2 はコア数は微増なのでコア時間は 5 分の 1 程度になる。ただし、メモリバンド幅が 10 倍以上なので、BW2 の性能がよくなる可能性はある。

BW に比べて BW2 のノード性能はどの程度か。

→ ノード当たりのコア数は BW2 が 2 倍以上あり、クロック周波数は少し落ちるが、メモリバンド幅が 10 倍あるので、アプリにもよるが倍以上の性能が出る可能性はある。

低優先度のジョブ実行を割当コア時間を使い切る前に利用できないのか。

→ 現状の運用方針ではできないが、将来的に検討する。

利用申請はいつでもできるのか。

→ 理研内課題は基本的にいつでも行える。HPCI 課題は年 1 回となる。

ジョブの実行方法は BW と同じか。

→ バッチジョブシステムという意味では同じである。ただし、ジョブマネージャーが slurm になることと Singularity を導入するのでコンテナでジョブ実行できる点は異なる。

BW で提供されているアプリケーションは使えるか。

→基本的には利用できるが、一部利用者の少ないアプリケーションは個別に相談している。

GPU はサブシステムだけで利用できるのか。

→その通りです。

GPU サーバは GPU4 枚が 4 ノードあるという意味か。

→その通りです。

GPU は A100 で正しいか。

→H100 の間違いでした。

サブシステムの使い方はどうなるか。

→基本的にはバッチジョブシステムであるが、状況に応じて変更することはありえる。

BW2 と R2DMS は連携するか。

→特別な連携は検討していない。SS と R2DMS の連携は準備している。

テープ（コールドストレージ）の利用方法はどうなっているか。

→コールドストレージの利用方法は決まっていない。現状のテープについては BW2 のログインノードにマウントする予定である。

利用報告書はどのようなものになるか。

→理研内課題の利用報告書は BW と同様のものを想定している。

2. HPCI の概要と申請の流れ

HPCI 課題は前年の秋に申請しないといけないので、急遽計算が必要になったときに困る

→現在の運用方針である程度カバーできると考えているが、将来的な検討課題とする。

HPCI 課題の場合データはどこに置くのか。

→基本的には利用する計算資源上に置くことになる。ただし、HPCIの共用ストレージを利用して、さまざまな計算資源からアクセスして利用することも可能である。

理研内課題とHPCI課題の両方を使うときデータはシェアされるのか。

→ホーム領域はシェアされることになる。データ領域は課題毎にディレクトリを持つことが出来る。